

災害に強い街づくりをめざして

～城内議員 台風19号災害の対応を問う～

久慈市議会12月定例会議は12月5日から20日まで開かれ、一般会計補正予算など17件を審議し、臨時職員や嘱託職員などの給与改善を図るための会計年度任用職員の給与に関する条例を含め、16件を可決しました。市道認定等に関する条例は継続審査となりました。一般質問は10・11の両日行われ、11日のトップで城内ちゅうえつ議員が質問し、関連質問ははしかみ洋子議員が行いました。

公契約条例の 制定に向けて

城内議員は久慈市における公契約条例制定について、その検討経過と結果、今後の考え方を質しました。

遠藤市長は、「検討の結果、県内先行例である岩手県・花巻市・北上市の取り組み状況から、適正な労働条件が確保され一定の成果が期待できるものと認識している。今後、業界団体等からの聞き取りや協議を重ね、公契約条例制定に向け取り組み」と答弁しました。

情報を生かした 防災対策を

台風第19号災害への対応について5点質問しました。①確度の高い気象・災害情報を生かした防災対策をとったのか。上陸4日前にはほぼ正確に進路が予想されていた。

た。時系列で対応を示せ。②久慈川の増水で栄町の元職業能力開発センター付近の水門から流入し住居・事務所が床上浸水した。台風10号の時は水門閉鎖し被害がなかった。今回、水門閉鎖した時刻はいつか。③滝ダムで緊急放流が行われた時刻はいつか。④二級河川沢川の抜本改修、新中の橋の水門の拡張及び内水排除施設の設置について、県に対して早急な実現を求めべき。⑤市内5カ所の雨水ポンプ場への人員配置数と配置時刻稼働時刻を示せ。

市長は次のように答えました。

①11日午後5時災害警戒本部設置。12日午前9時災害対策本部設置。午前10時警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始。午後3時警戒レベル4避難勧告発令。午後11時40分警戒レベル4避難指示発令。13日午前1時55分大雨特別警戒発表。午前2時2分警戒レベル5災害発生情報発令。今後も気象情報に留意し的確な避難情報を市民に伝達していく。②市災害対策本部から13日午前1時頃に水門閉鎖に係る指示を受け、1時半頃に第12分団第4部団員が水門の閉鎖を完了した。③滝ダム管理事務所では、相当規模の豪雨が想定されることから可能な限りダムの貯水量を確保するために、11日午前10時から放流を開始して貯水位48・07まで低下させており、13日午前2時20分から9時20分にかけて洪水の一部をダムに貯留してダム下流に流れる水量を低減した、と伺っている。④市として二級河川沢川の排水対策について、県に対する重点事項要望や被災時における要請を行ってきた。年内に

久慈市に予算要望

日本共産党久慈地区委員会と久慈市議団は2月3日、久慈市役所を訪れ、来年度の久慈市予算編成について、中学生までの医療費窓口現物給付化を早期実現するよう県と協議することなど39項目を要望しました。

党からは橋上辰夫地区委員長、城内仲悦久慈市議団長、橋上洋子久慈市議が出席。久慈市からは遠藤一市長、澤里充男副市長、中務秀雄総合政策部長、谷崎勉政策推進課長、伊藤賢一政策推進係長が出席しました。

遠藤市長は、久慈市の財政は大変厳しく、借金体制から抜けられず特別会計は大赤字であるが、そういうなかで困っている人たちの立場で政治をすすめたいと対応しました。



久慈市の遠藤市長（右から4人目）に要望する（左から）橋上市議、城内市議、橋上地区委員長

県土整備部長に対し要望を行う。⑤門前ポンプ場12日午後10時30分2名配置。その後、5カ所のポンプ場に1名から6名を順次流動的に配置。稼働時刻は、門前ポンプ場12日午後10時50分。その後4カ所は順次稼働。最後の稼働は西の沢ポンプ場で13日午前1時10分。停止時刻は、門前ポンプ場が最後で13日午後11時50分。

県立久慈病院の 医師確保について

県立久慈病院の医師確保に向けた取り組みについて3点質問しました。（2面に続く）



城内ちゅうえつ

9条改憲に反対
平和外交を
消費税の減税・
廃止をめざして



はしかみ洋子